

令和7年度第1回習志野警察署協議会

1 開催日

令和7年6月30日（月）

2 開催場所

千葉県習志野警察署

3 出席者

・協議会委員 9人 ・警察署 9人

4 業務報告

（1）令和7年5月末現在の犯罪・交通情勢について

（2）安全・安心なまちづくりに向けた取組について

5 警察署からの諮問事項

なし

6 委員からの要望・意見等

【質問】自転車のヘルメット着用率を高めるための施策としては、どのようなものがあるか。

【回答】学校における校則化や公共場所におけるポスター掲示等により着用意識の醸成を図るほか、ヘルメット購入に伴う助成金制度の活用を紹介している。

【質問】自転車事故の当事者になりやすい年齢層があるか

【回答】特別な年齢の傾向はなく、子供から高齢者まで当事者になる可能性がある。

【質問】空き家対策はどのように推進しているか

【回答】空き家を把握した上でパトロールの強化を図るとともに可能な範囲での情報提供により、地域の防犯意識の醸成を図っている。

【質問】地域住民や商工事業者向けの啓蒙活動にはどのようなものがあるか

【回答】各種広報媒体を活用し、定期的に情報発信しているほか自治会等からの要請に基づいた防犯指導、市が主催する安全安心なまちづくり協議会における情報共有など、関係機関と連携して啓蒙活動に当たっている。

【質問】防犯カメラ映像は検挙に効果があるのか

【回答】非常に役立っており、事件解決や犯人特定の重要な手がかりとなっている。

【意見】防犯カメラ設置に向け、警察や自治体で予算を確保してもらいたい

【回答】現実問題として警察における予算確保は困難であり、市と連携して検討していく。また、設置の数にも限界があるため、民間に対しても理解と協力を求めていく。

【質問】 自転車反則通告制度はどのような運用になるのか

【回答】 対象年齢を16歳以上とし、一時不停止や信号無視などの違反に対して青切符により処理することとなる。また、飲酒運転などの悪質性の高い違反については、赤切符により検察庁へ送致することとなる。

7 答申等に対する措置結果

なし

8 その他

(1) 協議会開催前に警察本部の施設見学を実施した。

(2) 全委員に対して署長から委嘱状を交付した。